

終着駅 トルストイ最後の旅 (2009)

THE LAST STATION

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 ドイツ／ロシア

色彩 Color

時間 112分

初公開日 2010/09/11

公開情報 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

映倫 PG12

【キャッチコピー】

大作家と“世界三大悪妻”と名高い
妻ソフィヤとの知られざる愛の物語。

【解説】

『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』などのロシアの文豪レフ・トルストイの晩年を映画化した伝記ドラマ。自らの財産をめぐってトルストイ主義者と呼ばれる信奉者たちと激しく対立していく妻ソフィヤに辟易しながらも、長年連れ添った夫婦ならではの決して一筋縄ではいかない愛の形を、秘書として新たに派遣されてきた理想主義の青年の視点からユーモアを織り交ぜ感動的に綴る。出演はトルストイ役に「インサイダー」のクリストファー・プラマー、その妻ソフィヤに「クイーン」のヘレン・ミレン、そして若い秘書ワレンチンに「つぐない」のジェームズ・マカヴォイ。監督は「ソープディッシュ」「卒業の朝」のマイケル・ホフマン。

ロシアの文豪レフ・トルストイの許には、彼の自然主義的思想を信奉するトルストイ主義者が集い、共同生活を送っていた。トルストイも彼らの活動を積極的に支援し、ついには“遺産は全てロシア国民のために使う”という新たな遺言への署名にも同意する。ところが、50年近くも連れ添い、夫を献身的に支えてきたソフィヤにとっては寝耳に水の話。家族のための遺産を手放してなるものかと、必死の行動に出る。それは、夫婦の間に深い溝を作ってしまう。そんな中、新たな個人秘書として憧れの文豪のもとにやって来た青年ワレンチン。少々世間知らずながら、その誠実さでトルストイ、ソフィヤ両方から信頼され、2人のありのままの姿に接していくことに。そうして、愛の理想を謳い上げるトルストイが抱えるままならない愛の現実に困惑してしまう。さらに、トルストイ主義者の奔放な女性マーシャに心奪われ、ますます理想と現実の狭間で混乱を深めていくワレンチンだったが…。

【クレジット】

監督	マイケル・ホフマン	Michael Hoffman
製作	クリス・カーリング	Chris Curling
	イエンス・モイラー	Jens Meurer
	ボニー・アーノルド	Bonnie Arnold
製作 総指揮	アンドレイ・コンチャロフスキー	Andrei Konchalovsky

	フィル・ロバートソン	Phil Robertson	
	ジュディ・トッセル	Judy Tossell	
	ロビー・リトル	Robbie Little	
原作	ジェイ・パリーニ	Jay Parini	『終着駅-トルストイ最後の旅-』（新潮文庫刊／旧題『終着駅トルストイの死の謎』）
脚本	マイケル・ホフマン	Michael Hoffman	
撮影	ゼバスティアン・エドシュミット	Sebastian Edschmidt	
プロダクションデザイン	パトリツィア・フォン・ブランドンスタイン	Patrizia von Brandenstein	
衣装デザイン	モニカ・ヤコブス	Monika Jacobs	
編集	パトリシア・ア・ロンメル	Patricia Rommel	
音楽	セルゲイ・イエチェンコ	Sergei Yevtushenko	
出演	ヘレン・ミレン	Helen Mirren	ソフィヤ・トルストイ
	クリストファー・プラマー	Christopher Plummer	レフ・トルストイ
	ジェームズ・マカヴォイ	James McAvoy	ワレンチン
	ポール・ジアマッティ	Paul Giamatti	チェルトコフ
	アンヌ＝マリー・ダフ	Anne-Marie Duff	シャー・トルストイ
	ケリー・コンドン	Kerry Condon	マーシャ

ジョン・ セッションズ	John Sessions	ダシャ ン
パトリッ ク・ケネ ディ	Patrick Kennedy	セル ゲン コ
トーマス・ スペンサー	Tomas Spencer	